

札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

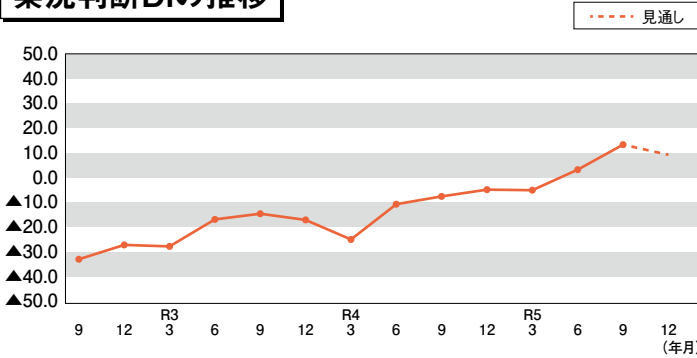
調査の概要

- 調査時期：令和5年9月1日～7日
 - 調査対象：札幌圏(札幌、石狩、空知) 後志圏(後志、渡島)
 - 対象企業数：当金庫のお取引先340社
回答数340社(札幌圏235社・後志圏105社) 回答率100%
 - 分析方法：DIを中心とした分析。
DI=「良い・増加・上昇した先の割合」-「悪い・減少・下降した先の割合」
DI>0→良い・増加・上昇 DI<0→悪い・減少・下降
 - その他：「中小企業の将来を見据えた事業承継について」
- ※DI(景気動向指数)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

全業種総合

札幌圏・後志圏

業況判断DIの推移



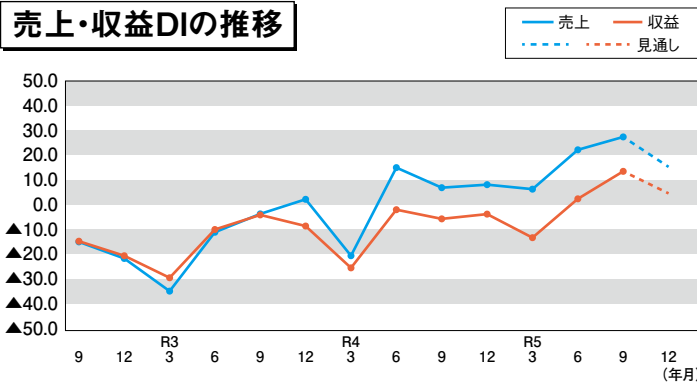
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は13.3と前期から10.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から4.1ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



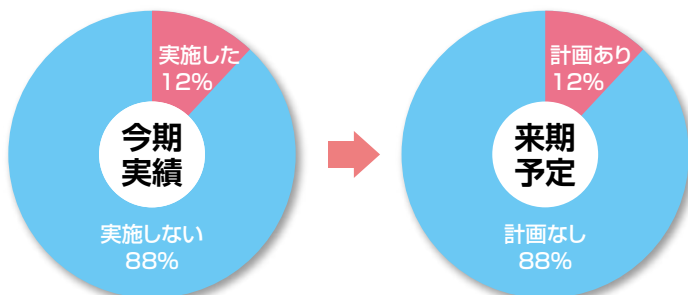
○売上DI～上昇↑

- ・今期は27.4と前期から5.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から12.1ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は13.5と前期から11.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から8.9ポイント低下する見通し。

設備投資動向

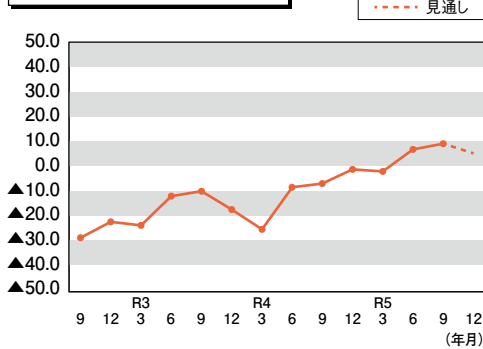


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
原材料高	32.1	30.9
売上の停滞・減少	22.9	—
利幅の縮小	22.1	29.4

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	53.5	55.9
販路を広げる	31.8	31.2
人材を確保する	28.5	31.2

札幌圏

業況判断DIの推移



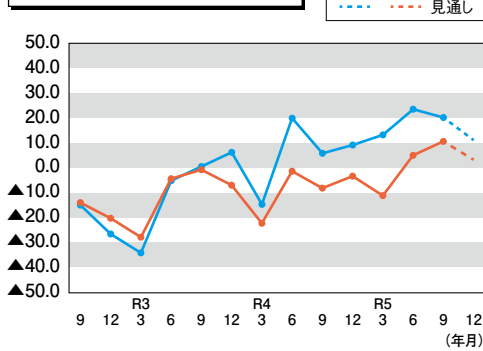
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は9.0と前期から2.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から3.9ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



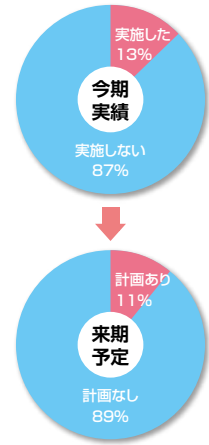
○売上DI～低下↓

- ・今期は20.3と前期から3.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.1ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は10.7と前期から5.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から7.5ポイント低下する見通し。

設備投資動向



(%)

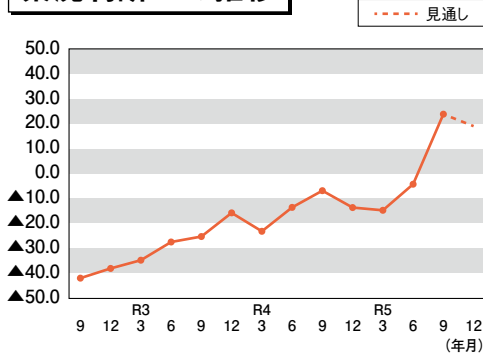
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
原材料高	28.9	31.5
同業者間の競争激化	26.4	26.8
売上の停滞・減少	23.4	—

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	52.8	52.3
販路を広げる	35.7	30.2
人材を確保する	26.0	31.1

後志圏

業況判断DIの推移



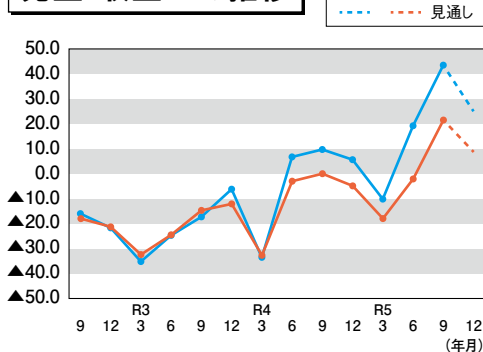
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は23.8と前期から28.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から4.8ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



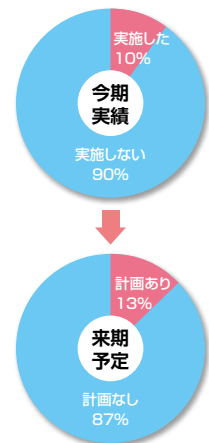
○売上DI～上昇↑

- ・今期は43.5と前期から24.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から18.5ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は21.5と前期から23.6ポイント上昇した。
- ・来期は今期から12.8ポイント低下する見通し。

設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
原材料高	39.0	29.5
利幅の縮小	24.8	35.2
売上の停滞・減少	21.9	28.6

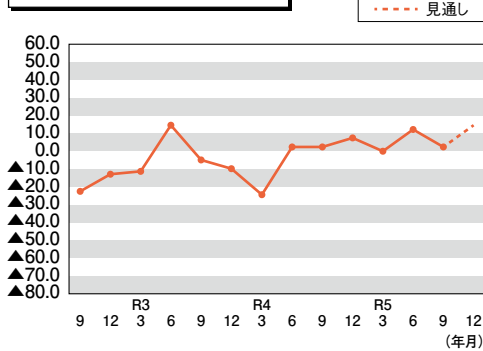
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	55.2	63.8
人材を確保する	34.3	31.4
販路を広げる	22.9	33.3

製造業

札幌圏 (調査数41社・回答数41社・回答率100%)

業況判断DIの推移



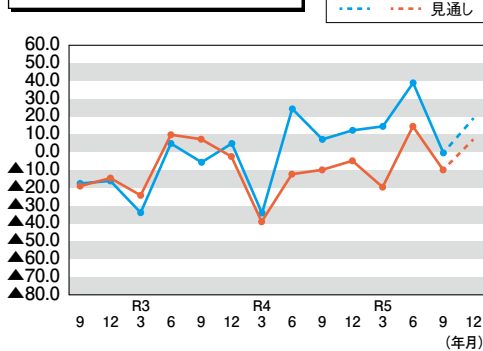
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は2.4と前期から9.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から12.2ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から39.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から19.5ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲9.8と前期から24.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.1ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

看板

仕入先からの値上げ要請に伴い、利幅が減少していることから販売価格に転嫁するよう努力している。

鉄鋼シャーリング

再開発やホテル建築需要、ラピダス関連の受注が今後も順調に入る見通しから、業況は堅調に推移する見込み。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	63.4
売上の停滞・減少	31.7
人手不足	29.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	61.0
経費を節減する	58.5
人材を確保する	31.7

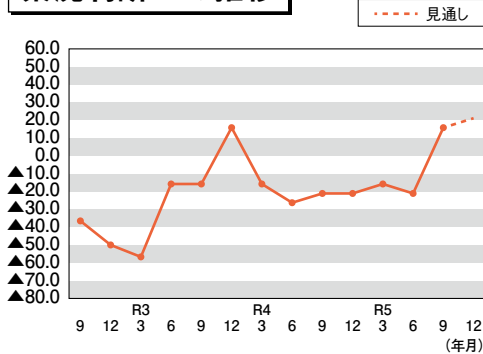
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	9.8
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	19.5

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数19社・回答数19社・回答率100%)

業況判断DIの推移



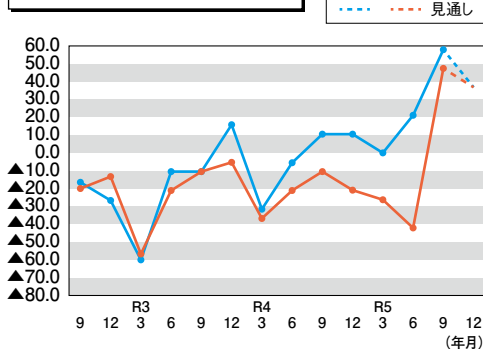
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は15.8と前期から36.9ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.3ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は57.9と前期から36.8ポイント上昇した。
- ・来期は今期から21.1ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は47.4と前期から89.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.6ポイント低下する見通し。

企業のコメント

練り製品

原材料価格は上昇しているが、販売価格に転嫁できているため利益を確保している。

農作物

8月は異常なほど気温が上昇したため、病気や小ぶりな状態である。今後の収穫に多少の不安がある。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	78.9
人手不足	42.1
人件費の増加	31.6

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	63.2
販路を広げる	42.1
機械化を推進する	31.6

設備投資動向(%)

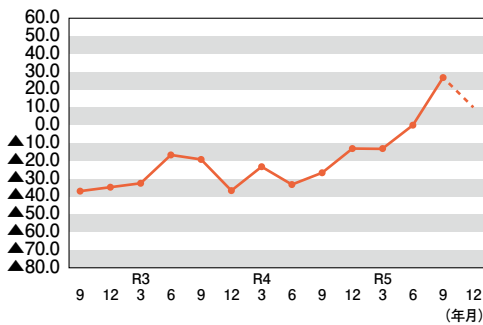
今期設備投資を実施した	10.5
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	21.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

卸売業

札幌圏 (調査数30社・回答数30社・回答率100%)

業況判断DIの推移



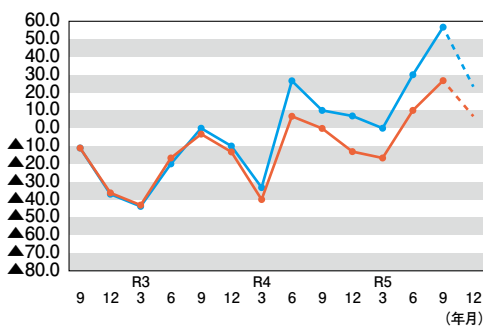
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は26.7と前期から26.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から16.7ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は56.7と前期から26.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から33.4ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は26.7と前期から16.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から20.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・水産物

売上高は増加傾向だが、原価高騰、人件費増に対して販売価格の転嫁ができておらず、利益確保に悩んでいる。

・靴

メーカーから展示会の依頼があるなど、明るい話題があり売上は回復傾向。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	30.0
売上の停滞・減少	26.7
人手不足	23.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	60.0
経費を節減する	40.0
情報力を強化する	26.7

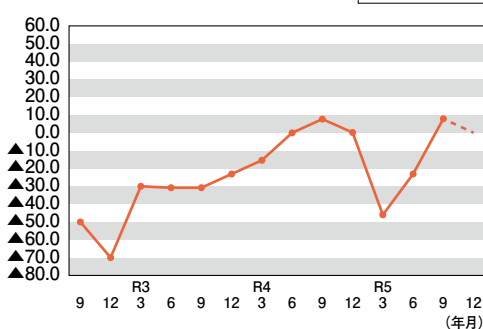
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	3.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	6.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数13社・回答数13社・回答率100%)

業況判断DIの推移



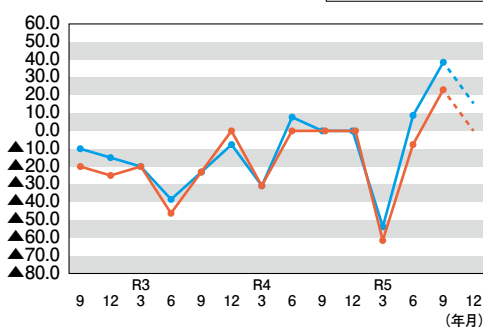
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は7.7と前期から30.8ポイント上昇した。
- ・来期は今期から7.7ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は38.5と前期から30.8ポイント上昇した。
- ・来期は今期から23.1ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は23.1と前期から30.8ポイント上昇した。
- ・来期は今期から23.1ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・包装資材

原材料の仕入単価が上昇しているが、価格転嫁できており一定の売上、利益を確保。取引先の人員不足により受注数に波あり。

・農産物集荷

今夏の高温、水不足により作物の生育が悪く収穫量は減少見込み。

経営上の問題点(複数回答)(%)

利幅の縮小	38.5
仕入先からの値上げ要請	38.5
同業者間の競争激化	30.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	76.9
販路を広げる	53.8
流通経路の見直しをする	23.1

設備投資動向(%)

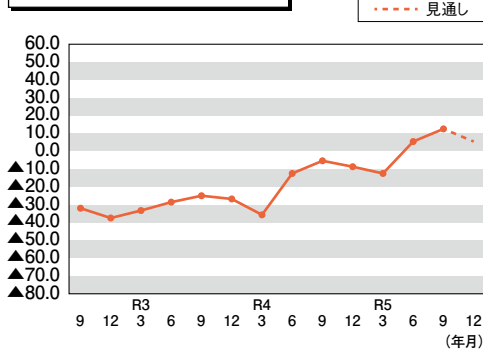
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

小売業

札幌圏 (調査数56社・回答数56社・回答率100%)

業況判断DIの推移



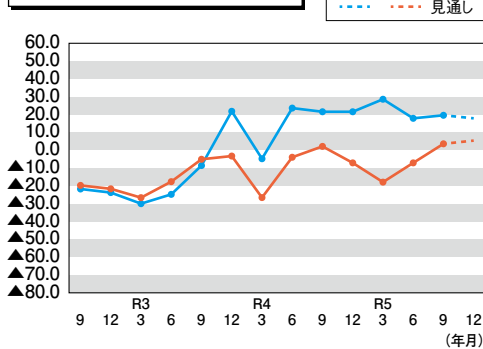
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は12.5と前期から7.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から7.1ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は19.6と前期から1.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から1.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は3.6と前期から10.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から1.8ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・灯油

燃料価格の高騰により、仕入価格・販売価格ともに上昇。今後も価格転嫁が可能か先行きが見通せず不安定な状況。

・食料品

物価上昇による影響から春先以降、比較的低価格の商品が好調で売上が増加傾向にある。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	35.7
利幅の縮小	32.1
売上の停滞・減少	30.4

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.7
宣伝・広告を強化する	28.6
売れ筋商品を取扱う	21.4

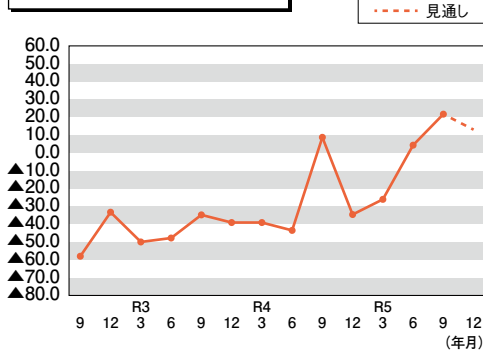
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	8.9
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	3.6

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



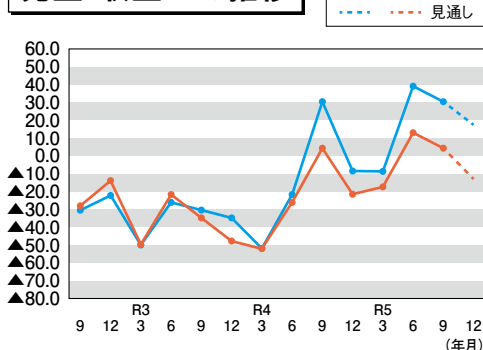
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は21.7と前期から17.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から8.7ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は30.4と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は4.3と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.3ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・食品・酒

仕入価格が上昇傾向にあり、ある程度価格転嫁できているが、地域の高齢化、人口の減少により売上は減少傾向にある。

・海産・鮮魚

コロナの行動制限緩和により観光客が増加しているものの、漁獲量が低迷しており売上増加には至っていない。

経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	34.8
人手不足	34.8
商圏人口の減少	34.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	65.2
人材を確保する	26.1
売れ筋商品を取扱う	21.7

設備投資動向(%)

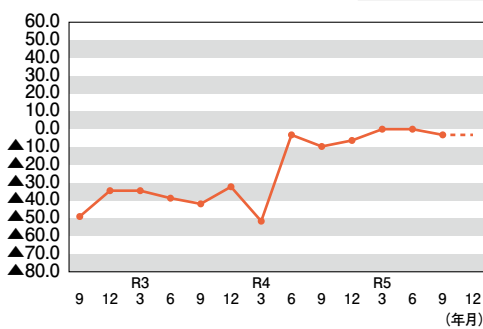
今期設備投資を実施した	8.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

サービス業

札幌圏 (調査数31社・回答数31社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲3.2と前期から3.2ポイント低下した。
- ・来期は▲3.2ポイントと横ばいの見通し。

企業のコメント

- ・**ホテル**
インバウンド需要増によりフル稼働の状況。経費増加分は販売価格に転嫁できている。
- ・**自動車架装**
未だ半導体不足の影響で車体生産に遅れが生じており、受注はあるものの車体が納入されない状況。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	41.9
人手不足	32.3
同業者間の競争激化	25.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

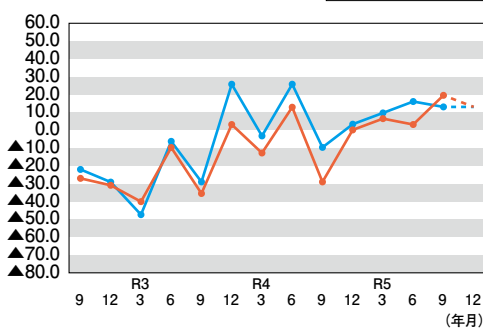
経費を節減する	64.5
販路を広げる	35.5
人材を確保する	25.8

設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	29.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	22.6

(不動産、機械、事務機器、車両等)

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

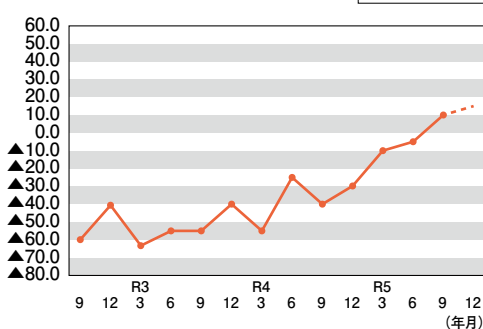
- ・今期は12.9と前期から3.2ポイント低下した。
- ・来期は12.9ポイントと横ばいの見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は19.4と前期から16.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から6.5ポイント低下する見通し。

後志圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は10.0と前期から15.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

- ・**貸切バス**
売上はコロナ禍前まで回復しているが、燃料価格の値上がり分を完全には販売価格に転嫁できていない。
- ・**自動車販売・整備**
新車納期の遅延については解消されており、平時に戻っている。今後の車両価格の上昇が不安材料となっている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	55.0
売上の停滞・減少	40.0
人手不足	35.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

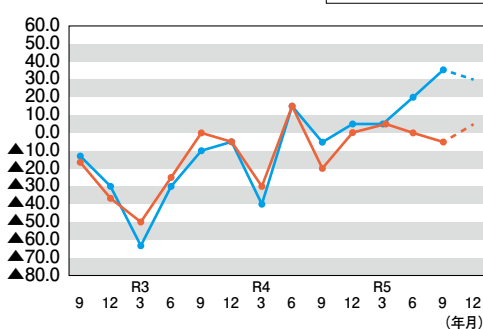
人材を確保する	45.0
経費を節減する	35.0
宣伝・広告を強化する	35.0

設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	15.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は35.0と前期から15.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

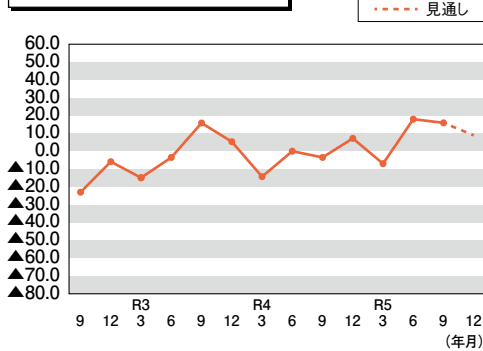
○収益DI～低下↓

- ・今期は▲5.0と前期から5.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

建設業

札幌圏 (調査数57社・回答数57社・回答率100%)

業況判断DIの推移



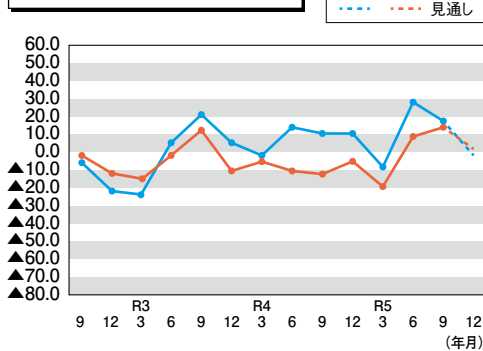
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は15.8と前期から1.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.0ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は17.5と前期から10.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から19.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は14.0と前期から5.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から12.2ポイント低下する見通し。

企業のコメント

- ・**内装工事**
受注は相応に確保しているものの、建設業界全般的に人手不足である。下請け業者にも限界があり、工期に影響がでる可能性もある。
- ・**道路舗装工事**
人手不足や従業員の高齢化が進んでいる。労働時間の短縮化が進み人材確保が急務である。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	50.9
人手不足	43.9
同業者間の競争激化	22.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	45.6
販路を広げる	40.4
人材を確保する	38.6

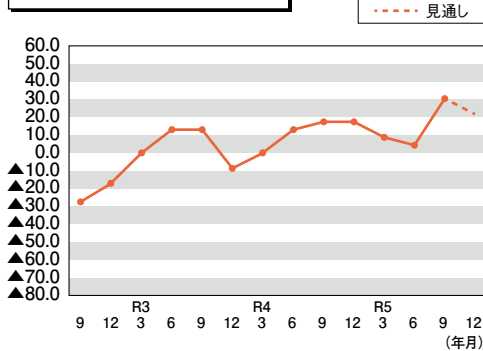
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	15.8
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



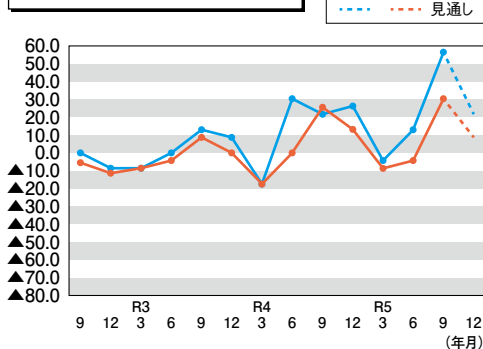
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は30.4と前期から26.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から8.7ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は56.5と前期から43.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から34.8ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は30.4と前期から34.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から21.7ポイント低下する見通し。

企業のコメント

- ・**建築**
現在はコロナの影響も少なくなり町内での受注状況は安定し、一定の売上を確保できている。
- ・**土木工事**
安定した受注があるも、人材不足や現場従業員の高齢化が課題であり、人員確保や若手従業員の育成が必要。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	65.2
人手不足	43.5
利幅の縮小	26.1

当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	60.9
経費を節減する	60.9
技術力を高める	43.5

設備投資動向(%)

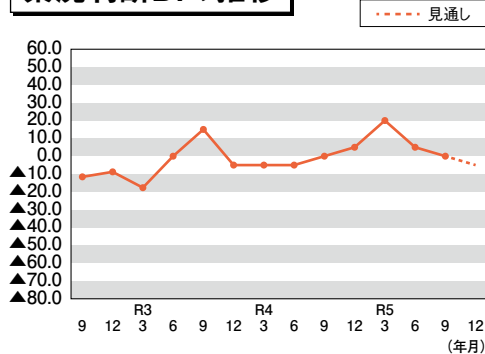
今期設備投資を実施した	13.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	21.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

不動産業

札幌圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から5.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

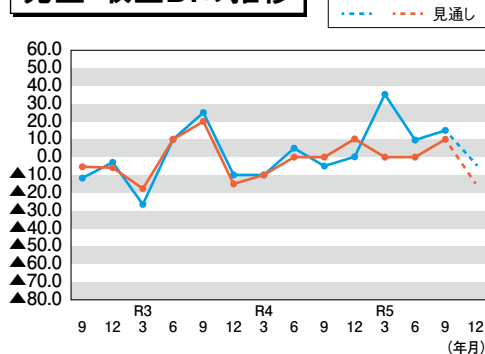
・販売・仲介

同業者間での競争が激化している。また、材料費高騰に伴い販売価格が上昇し、物件購入者数も低迷している状況。

・賃貸

売上、利益とも大幅な増加をしており、業況堅調に推移している。主に賃貸売上が伸びており今後もラピダス誘致の關係にて業界全体の盛り上がり期待される。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は15.0と前期から5.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から20.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は10.0と前期から10.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から25.0ポイント低下する見通し。

経営上の問題点(複数回答)(%)

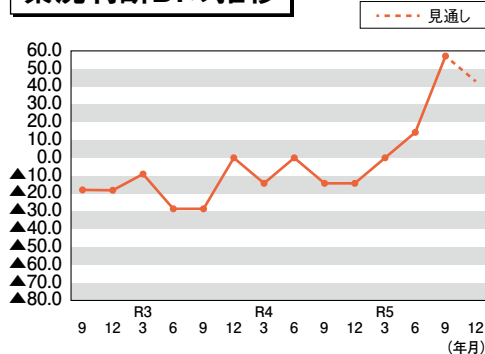
商品物件の高騰	50.0
同業者間の競争激化	40.0
商品物件の不足	30.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

情報力を強化する	60.0
経費を節減する	40.0
宣伝・広告を強化する	40.0

後志圏 (調査数7社・回答数7社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は57.1と前期から42.8ポイント上昇した。
- ・来期は今期から14.2ポイント低下する見通し。

企業のコメント

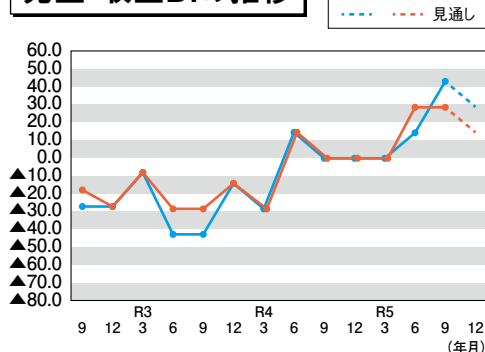
・仲介

人口減少に伴い中古物件の売却希望が増えているが、不動産の価格相場は上昇しており成約には結びつかない。

・不動産売買

建築資材の高騰から新築住宅の受注が減少している。また土地取引の動きも鈍い状況で業績は低調きみである。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は42.9と前期から28.6ポイント上昇した。
- ・来期は今期から14.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は28.6と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から14.3ポイント低下する見通し。

経営上の問題点(複数回答)(%)

商品物件の不足	57.1
商品物件の高騰	28.6
人手不足	14.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

情報力を強化する	57.1
販路を広げる	14.3
宣伝・広告を強化する	14.3

特別調査

「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

問1

貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。
また、貴社の後継者問題についてお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
社長の年齢階層							
1. 20歳代、30歳代	1.7%	2.3%	1.3%	3.9%	0.0%	3.7%	1.8%
2. 40歳代	6.7%	14.0%	15.2%	19.6%	17.5%	14.8%	14.7%
3. 50歳代	38.3%	27.9%	32.9%	29.5%	33.7%	33.4%	32.9%
4. 60歳代	30.0%	30.2%	29.1%	29.4%	28.8%	29.6%	29.4%
5. 70歳代以上	23.3%	25.6%	21.5%	17.6%	20.0%	18.5%	21.2%
後継者について							
6. 後継者はすでに決まっている	28.4%	23.3%	24.0%	13.7%	20.0%	14.8%	21.5%
7. 後継者はいるが、まだ決まっていない	28.3%	20.9%	16.5%	27.5%	33.7%	29.7%	25.9%
8. 候補者が見当たらない	5.0%	9.3%	19.0%	9.8%	6.3%	14.8%	10.6%
9. まだ考えていない	38.3%	37.2%	39.2%	45.1%	37.5%	29.6%	38.5%
10. 後継者は必要ない(事業譲渡希望、廃業予定)	0.0%	9.3%	1.3%	3.9%	2.5%	11.1%	3.5%

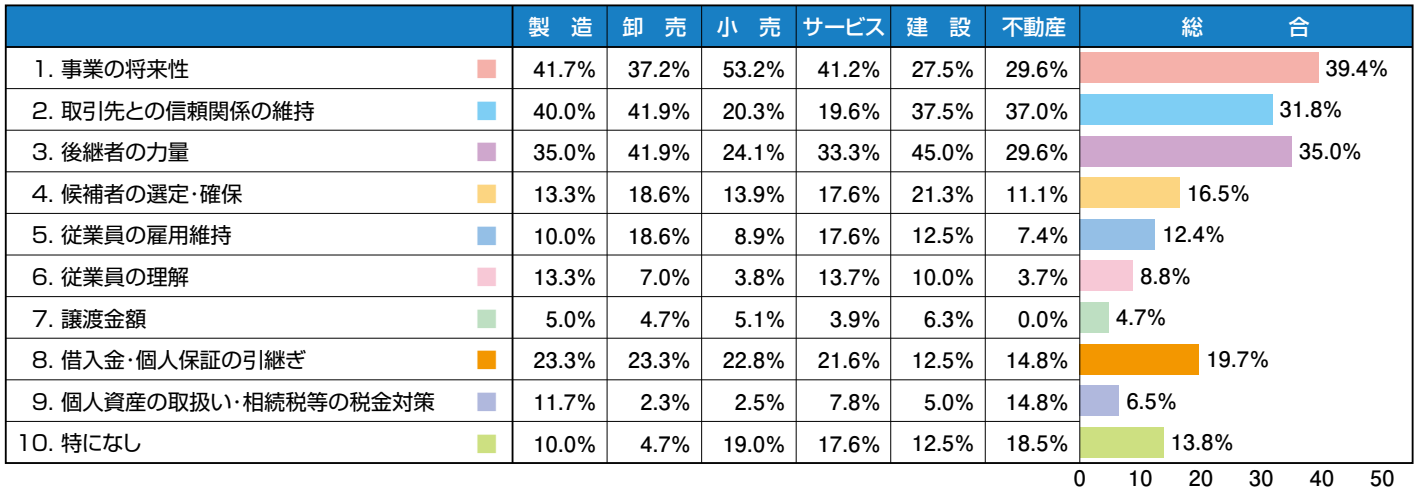
問2

貴社の現時点における事業承継の考え方について、お答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 子供(娘婿などを含む)に承継	35.0%	16.3%	35.4%	19.6%	28.6%	37.1%	29.0%
2. その他の同族者(兄弟、親戚など)に承継	11.7%	2.3%	2.5%	5.9%	10.0%	3.7%	6.5%
3. 非同族の役員、従業員に承継	18.3%	25.6%	11.4%	19.6%	25.0%	18.5%	19.4%
4. 非同族の社外人材に承継	0.0%	2.3%	1.3%	2.0%	0.0%	0.0%	0.9%
5. M&A(第三者への事業譲渡)等	3.3%	4.7%	2.5%	2.0%	0.0%	0.0%	2.1%
6. 忙しく考える余裕がない	5.0%	4.7%	6.3%	7.8%	5.0%	0.0%	5.3%
7. 何から手をつけていいかわからない	5.0%	2.3%	7.6%	2.0%	1.3%	3.7%	3.8%
8. 身近に相談相手がない	0.0%	0.0%	3.8%	2.0%	0.0%	0.0%	1.2%
9. 現時点で考えるつもりはない	21.7%	34.8%	20.3%	27.3%	26.3%	25.9%	25.3%
10. 現在の事業を継続するつもりがない	0.0%	7.0%	8.9%	11.8%	3.8%	11.1%	6.5%

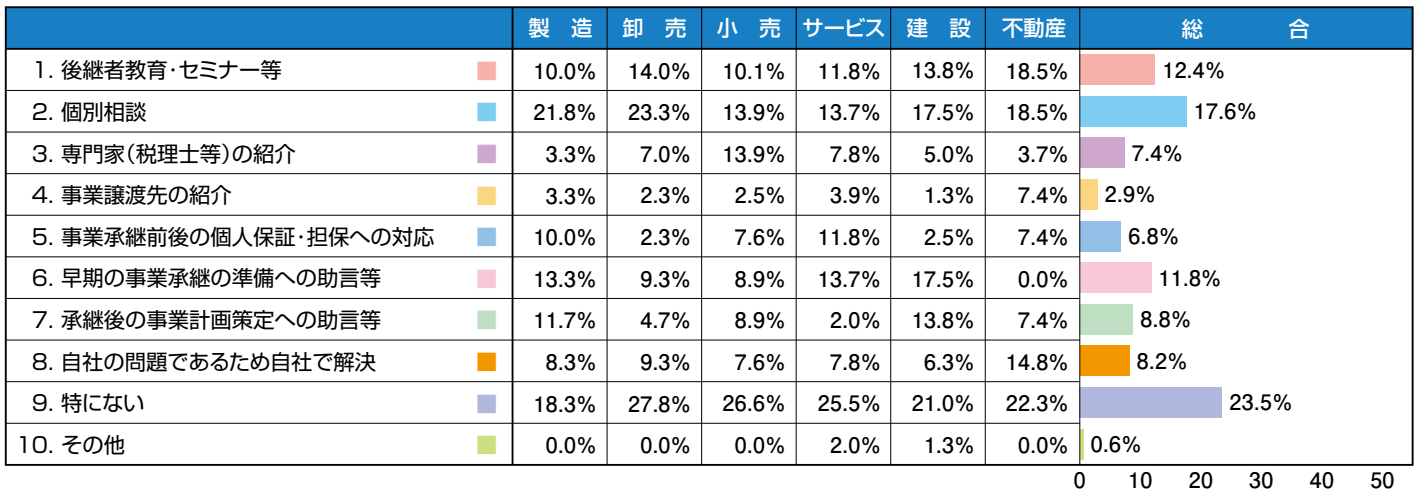
問3

貴社では事業承継を行おうとする際、どのようなことが問題になると考えられますか。
(3つまで選択)



問4

中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫に期待していること、今後期待したいことについてお答えください。



問5

近年、中小企業におけるM&A(第三者への事業譲渡)が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。(3つまで選択)

